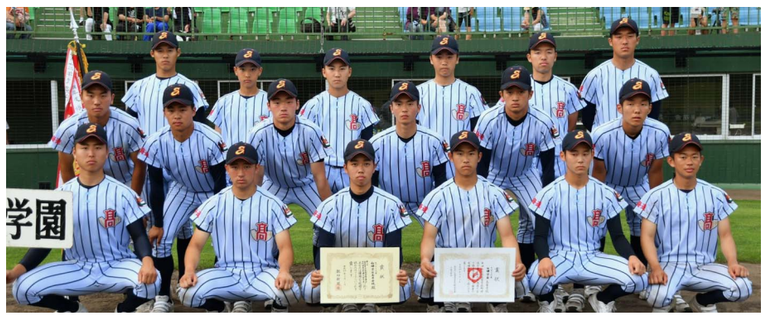
甲子園へ最終関門

夏の高校野球 北北海道大会

15日開幕

第99回全国高校野球選手権（8月7日開幕・阪神甲子園球場）への最終関門となる北・北海道大会が15日、旭川市スタルヒン球場で開幕する。十勝支部からは白樺学園（4年連続17度目）、帯大谷（4年ぶり5度目）、江陵（2年連続6度目）の3校が出場する。いずれも初戦で難敵と対戦。勝利で弾みをつけて、白樺学園は2年ぶり、帯大谷は4年ぶり、江陵は初の甲子園出場を目指す。開会式は午前8時半から行われ、名寄支部から全国大会初出場を狙う稚内大谷（3年連続31度目）の上川原丈登主将（3年）が選手宣誓を行う。6支部の代表16校がトーナメントで熱戦を展開。日程が予定通り行われれば21日に決勝が行われる。十勝支部代表の3校の戦力を紹介する。（北雅貴）



2年ぶりの全国出場を狙う白樺学園

白樺学園

2年ぶりVへ「挑戦者」

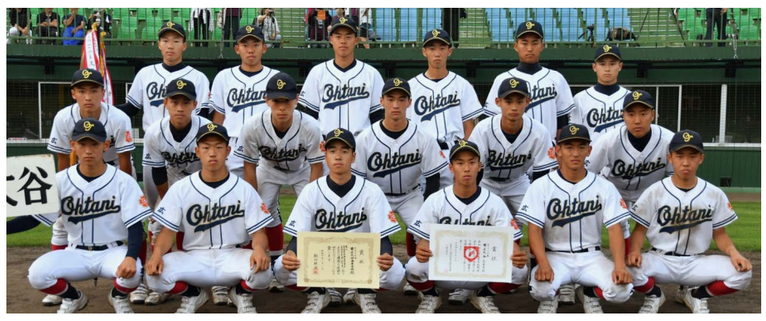
投手を中心とした堅守が光る。支部予選では2試合で無失点。内野は計2失策したものの、昨年もレギュラーだった捕手の阿部優人主将（3年）、遊撃の小笠原悠真（同）、中堅の牧海斗（同）のセンターラインがしっかりとしており、安定感はピカイチだ。

代表決定戦の帯柏葉戦では、佐藤翔陽（同）と宮本嵩斗（同）の継投で零封し、1―0での勝利に大きく貢献した。得点がままならない中で、代表の座をつかんだことが自信となっている。その後の練習で打撃陣はバットを振り込んで強化を図っている。

初戦で昨夏の甲子園出場校のクラーク記念国際（深川）と激突する。クラークは集中打が健在で、小技も絡めてくる。戸出直樹監督は「挑戦者として向かっていく気持ちが必要。けが人もいなく順調にきている。勝てば、上を狙うために勢いがつく」と話す。

選手	年	出身中	打安点振球犠盗	打率
佐藤　槙平	3	鶴居	7001200	.000
阿部　優人	3	札幌稲穂	8301102	.375
池田　魁	2	石狩花川	7410201	.571
牧　海斗	3	帯南町	5110221	.200
棚橋　勇輝	2	室蘭桜蘭	6131111	.167
小笠原悠真	3	札内東	6100201	.167
佐藤　翔陽	3	網走二	6103000	.167
久保　航太	1	札内	5101010	.200
西村　魁十	2	栗山	4100211	.250
牧野　憲伸	3	帯七		
宮本　嵩斗	3	滝川江陵	0000010	.000
赤根　海斗	3	釧路音別	1110000	1.000
馬場　岳斗	3	横浜新田		
日下　優汰	2	芽室		
大和　竜晟	1	室蘭桜蘭	1100001	1.000
澤田　夏来	2	札幌大谷	1000000	.000
小形　開斗	3	札内		
溝江　亮介	3	下音更		
			5715671268	.263

守	回者球数安振球責	防御率
佐藤翔	1248　156 85 40	0.00
宮本	517　60 22 10	0.00



4年ぶりの甲子園に向けて闘志を燃やす帯大谷

帯大谷

場数踏んだ選手に自信

高い総合力を誇る。春季支部予選の代表決定戦で、白樺学園に4―3で競り勝ち、全道では滝川西、武修館（釧路）と北北海道勢を破った。駒大苫小牧には敗れたものの、延長十三回にもつれ込む接戦を演じた。

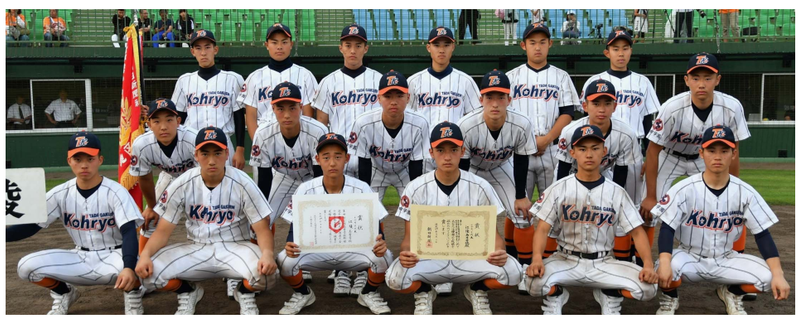
春から積み重ねた10試合の公式戦が大きな自信となっている。網野元監督は「選手たちは落ち着いてプレーできるようになった。投手陣が場数を踏めたのが大きい」と振り返る。

夏の支部予選は長打力に単打を1イニングに5本集めて5点を奪う集中打も。4人の投手は佐々木慎広（3年）を中心に安定している。

1回戦は大会屈指の好左腕を擁する稚内大谷と対戦。先発出場が予想される6人の左打者は「左投手を苦にするタイプではない」（網野監督）と頼もしい。小差の試合に持ち込むつもりだ。

選手	年	出身中	打安点振球犠盗	打率
山瑠規	3	清川園	9421100	.444
中瀬晴輝	2	緑五園	1041300	.400
糸石田太晟	3	帯江南	8322200	.375
宇野鹿真	3	帯緑園	7110200	.143
渡辺谷川優斗	3	帯更別中	6341110	.500
長谷川春海	3	帯新ひだか静内	8300000	.375
油井々木慎広	3	下音更二	7211100	.286
浅川浦隆人	2	帯帯緑七	5301110	.600
宮本山開登	2	帯帯緑尾	3001010	.000
太田圭祐	2	帯広南町	2010000	.000
高西康太郎	3	帯芽室園	1001000	.000
佐藤　優	3	帯緑札緑	0000000	.000
奥平竜騎	2	帯中帯		
及川凜吏	2			
加藤晃輝	1			
			6824131183 1	.353

守	回者球数安振球責	防御率
佐々木	1145　151 113 32	1.64
宮浦	416　72 22 11	2.25
山本	16　24 00 30	0.00
渡辺	15　13 20 01	9.00



初の甲子園出場を目指す江陵

江陵

鍛えた攻撃力で頂点を

3試合で33得点と猛打が武器だ。西田つばさ部長による食事の管理や筋力、体幹トレーニングの強化が実り、選手の体は昨冬から一回り大きくなり、力強くなった。

1年生の4番打者で5割をマークした木村晏士の脇を、昨年の北北海道大会で本塁打を放った工藤遼太朗（3年）、成長著しい佐藤那都（2年）が固める。高橋良太主将（3年）やエースの小森翔也（同）らも昨夏の北大会経験者だ。小森は代表決定戦こそ打ち込まれたが、谷本献悟監督は「一番伸びた選手」と信頼する。独特の緊張感がある開幕戦も2年連続のため「気にはならない」（高橋主将）と問題にしない。

初戦は甲子園に7度出場の旭川大。谷本監督は「何をやってくるか分からないが、自分たちがそれぞれの役割をいかに果たすかが大事」と気を引き締める。

選手	年	出身中	打安点振球犠盗	打率
小森　翔也	3	駒場	1343121 1	.308
高橋　良太	3	小樽銭函	9340434	.333
工藤遼太朗	3	浦幌三三	9221201	.222
木村　晏士	1	静内	6330310	.500
佐藤　那都	2	網走大	1051022 1	.500
平井　幸輝	3	帯鹿追	1151040 0	.455
及川　翔大	3	勇帯	9460222	.444
丑若　雄滉	3	札北	1044030 3	.400
大井　滉平	3	帯帯	1022412 0	.200
村田龍一郎	2	札幌新琴似北	0000100	
谷口　海斗	3	北札	1000110	.000
井田　廉太	3	札札	0000001	.000
伏見　啓遥	3	札帯	0000100	.000
棚　楓碧史	3	帯		
石川　蒼翔悟	3	北見		
堀井森笹ケ崎	3	北神	3210000 0000000	.667 .000

守	回者球数安振球責	防御率
小森	13⅔　69	7.90
笹森	6⅓　30	2.84
谷口	3　12	0.00
千ケ崎	2　8	0.00

選手	年	出身中	打安点振球犠盗	打率
中川　遥	3	八雲東	1000000	.000
小野寺和大	3	空知端野	0000000	.000
内端　大	3	空知大和	0000000	.000
大見　凌	3	追分		
足立　碧	3	空知上野幌		
空内　翔	3	北見南		
追　悠斗	3	網走南ヶ丘		
足　廉	3	帯広翔陽		
空　幸	3	帯芽室		
内　翔	3	帯広翔陽		
野　悠	3	帯広翔陽		
和　海	3	帯広翔陽		
大　廉	3	帯広翔陽		
端　悠	3	帯広翔陽		
大　悠	3	帯広翔陽		
野　悠	3	帯広翔陽		
和　海	3	帯広翔陽		
野　悠